

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月1日

事業所名: チュウヒ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用人数が多い日のために活動スペースを1部屋増やした。低学年と高学年と分けて勉強するようにしている。	これからもスペースの確保に努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		基準に適した人員プラスα多く人員を配置しているが急病等で不足する日もあった。	スタッフやその家族の急病等に備え、さらに有資格者を雇用した。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		建物入り口までの階段には手すりを設置し、活動する部屋は完全にバリアフリーです。	今までに該当者はいないが、車いすの場合の対応を考える必要がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		1日の始まりと終わりに口頭、報告書で確認している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今後も保護者等の意向等を把握して改善に努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年自己評価をHPに掲載しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		積極的に研修に参加をしている。専門書を揃えて各自閲覧している。	ZOOMによる研修を多く取り入れ新人スタッフにも共有出来るよう研修内容をまとめています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			新しい情報を共有しながらアセスメントを行っていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		個別支援計画を立てる際に参考にしています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		スタッフ間で相談しながら立案をしています。	全スタッフが集結し、情報共有、意見交換をする機会をもっと増やしていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎日違う話題提供をしたり、季節に沿ったプログラムを組んでいます。	集団活動では子供自身が発案したり、リーダーシップをとって進行する機会も設けています。低学年はスタッフや高学年の子と協力してリーダー活動をしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇前や年度末に保護者の方と面談をして活動内容や目標を定めています。	学校休業日や長期休暇の際は、スタッフの専門性を重視した活動も取り入れています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動では保護者や本人のニーズに沿った学習指導を主にしている。	集団活動が苦手な子には、高学年やスタッフが誘導したり、一緒に活動をしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		全スタッフが見れる個人の詳細カルテを作成し、必ず目を通してから支援をしています。また全体で打ち合わせをして情報共有に努めています。	同様の取り組みを継続していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎時の様子や気になったこと等はその日のうちにスタッフ、保護者の方と共有をしている。	詳細は個人カルテに記入をし、翌日の打ち合わせで支援等を共有しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		業務日誌に記録しています。	以前と比較をして支援を検証、改善につなげています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年ごとにモニタリングを行っています。定期的に保護者面談を行い、モニタリングに反映させています。	同様の取り組みを継続していきます。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別支援計画を立てる際に参考にしています。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	○		児童発達支援管理責任者が主に担当している。	
	21	○		毎月の学校行事予定表を保護者の方からコピーさせていただき、送迎時には担当の先生と情報共有をしています。	同様の取り組みを継続していきます。
	22		○	現在該当する利用者はいません。	今後必要に応じて適切に対応していきます。
	23		○	まだ事例はないが、今後必要に応じて適切に対応していきます。	保護者から保育園や幼稚園での様子はどうか詳しく聞き取っている。
	24		○	まだ事例はないが、今後必要に応じて適切に対応していきます。	
	25	○		定期的に相談事業所等から助言をいただいたり、研修に参加し情報共有している。	今後も研修等に積極的に参加し、情報収集に努めてまいります。
	26	○		同年代の障害のない子とイベント等で交流する機会を設けた。	今後もっと増やしていきたいと思っています。
	27		○		
	28	○		送迎時、ライン、電話等で保護者の方と密に連絡を取り合っています。	同様の取り組みを継続していきます。
保護者への説明責任等	29	○		専門家を招いて保護者参加のイベントを実施し、困りごとの相談をしたり具体的なアドバイスをいただいている。	今後とも継続して行きたいと思います。
	30	○		利用契約の際に、重要事項の説明を詳細に行っております。その中で利用者負担についても説明しています。	同様の取り組みを継続していきます。
	31	○		可能な範囲で対応をしています。緊急の場合は時間外でも対応できる携帯電話を所持しています。	こちらから声をかける等、相談しやすい環境作りを努めてまいります。
	32	○		理学療法士を招いてみんなで運動ケアをして困りごとを相談したり、保護者参加型の季節のイベントを実施している。	保護者参加のイベントをもっと増やしていきたいと思います。
	33	○		苦情対応の窓口を設置しており、利用契約の際に周知を行っています。	同様の取り組みを継続していきます。
	34	○		毎月イベントの案内を作成し、活動概要や情報を伝えている。また様々な情報をLINEで定期的に一斉配信している。	内容の充実を図り、日々の活動の様子をより理解していただけるよう取り組んでいきます。
	35	○		個人情報の保護の徹底をスタッフ全員で意識して業務を行っています。	同様の取り組みを継続していきます。
	36	○		子どもたちのコミュニケーションを図り、要望を聞き取っています。言いにくい場合は送迎時や個室で話をするようにしています。	同様の取り組みを継続していきます。
	37	○		地域、その他から講師を招いています。	地域住民に参加してもらう機会を考えます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを事業所用に作成しスタッフ全員で共有しています。保護者の方には利用契約の際に周知を行っています。	緊急事態マニュアル、感染症対策マニュアルは利用契約の際に保護者の方にお渡ししています。職員に対しては今後さらに準備をしていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		施設は非常災害地域外にありますが、避難訓練等行っていきたいと思います。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止マニュアルを作成しスタッフ全員で共有しています。	同様の取り組みを継続していきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在該当する利用者はいません。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		おやつ時間はスタッフがひとり対象者について、アレルギーの食物を食べないように見ている。	家から持参したものを食べたり、別の入れ物から選んだりして集団活動をしています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット報告書は作成していますが、事例集は作成していません。	口頭で確認している。該当する事例が発生した場合はスタッフ全員で共有します。

